

【連載】

# 老健仕事人 看護師

## 二足の<sup>わらじ</sup>草鞋を履く



赤嶺邦子 [あかみね・くにこ]

介護老人保健施設池田苑(沖縄県)  
事務長

### はじめに

法人の基本理念に惹かれ22年前に介護支援専門員で入職し、訪問看護ステーションや老健施設、通所サービスの看護師を経験し、約10年前に事務長職に就任しました。いまま変わらず基本理念を念頭に職員たちと日々、業務に取り組んでいます。

今回「老健仕事人」の執筆にあたり、看護師と事務長の役割をこなしながら感じていることを素直に書きたいと思います。

### 施設紹介

沖縄県西原町池田の緑豊かな小高い丘に、介護老人保健施設池田苑があります。

当法人は老健施設(100床)、居宅介護支援事業所、通所サービス(通所リハビリ3か所、通所介護2か所)、訪問看護ステーション、訪問診療、クリニック2か所、有料老人ホーム2か所を運営し今年で30年を迎えました。

人に例えますと、30歳を過ぎるとそれまでの経験を活かし、リーダーとして活躍する時期です。当法人



施設外観

も介護福祉業界のリーダーとして地域社会と手を取り合い、高齢者・障がいのある方(児)が住み慣れた自宅・地域でいつまでも安心して暮らせるように職員一丸となり、より一層努力しなければなりません。

### 人材不足の波からコロナの波まで

近年、人材不足がかなり深刻化しています。わが国の65歳以上の高齢者人口は2022年10月1日現在、3,624万人にのぼり高齢化率は29.0%に達しています。その後も高齢化率は上昇し2040年には34.8%になると推計されています。

その一方で社会・経済を支える生産年齢人口は1995年以降減少傾向にあり、2022年では高齢者1人当たり2.0人、2040年には1.6人で支えることとなります。

人材不足、ワークライフバランス、働き方改革が定着化し多様な働き方があります。

当法人も人材不足は深刻な問題です。各専門職の確保がかなり厳しく多様な働き方を調整し、なんとか業務をつないでいる状況です。ただしそのような状況下でも、優秀な人材確保、質の向上を常にめざしています。

また、2020年1月から世界中で猛威をふるったCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)は本当に私たちに苦しめました。

経験したことのない感染症で現場は混乱し、情報収集に追われました。当施設もクラスターを経験し当初、情報が十分ではない上に治療薬もなく介護・看護職員のなかには不安を抱え、業務をすること自体に不安があり、感染したらどうしようという声もありました。